

## 平成30年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 教授 山内 一郎

取組状況	
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物理Ⅱ到達度試験を2月下旬に実施した。学生の到達度を測定していくためさらに多くのデータを収集したい。</li> <li>・物理学実験のテーマを増強した。バネ振り子をもちいた振動実験で、光センサーとオシロスコープで周期などを求めていたが、直接力を自動計測することで、周期などの測定精度を向上できた。</li> <li>・4月よりGoogle Classroomをクラス運営に利用している。Classroomを確認をしない学生への対応に苦慮している。</li> </ul>
研究	<p>・「An extra vector state at a low-mass, <math>\omega(1250)</math> in a analysis of <math>e^+e^-</math> annihilation data」論文の現状ベクトル中間子(駒田、山内、9月3日:2018年度 シグマグループ夏期セミナー(八海山))</p>
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校見学会でものづくり科学教室(6月17日)を行い、高専での実験授業を中学生にアピールした。</li> <li>・平成30年度体験入学(7月16日)において、物理実験授業を行い、中学生に高専の授業の一端を体験していただいた。</li> <li>・鈴ヶ森中学校(8月23日)で出前連続3コマの授業を行い、自動発火器を用い予想外の実験結果の体験や光の万華鏡制作で生徒たちの興味を引き出せた。</li> </ul>